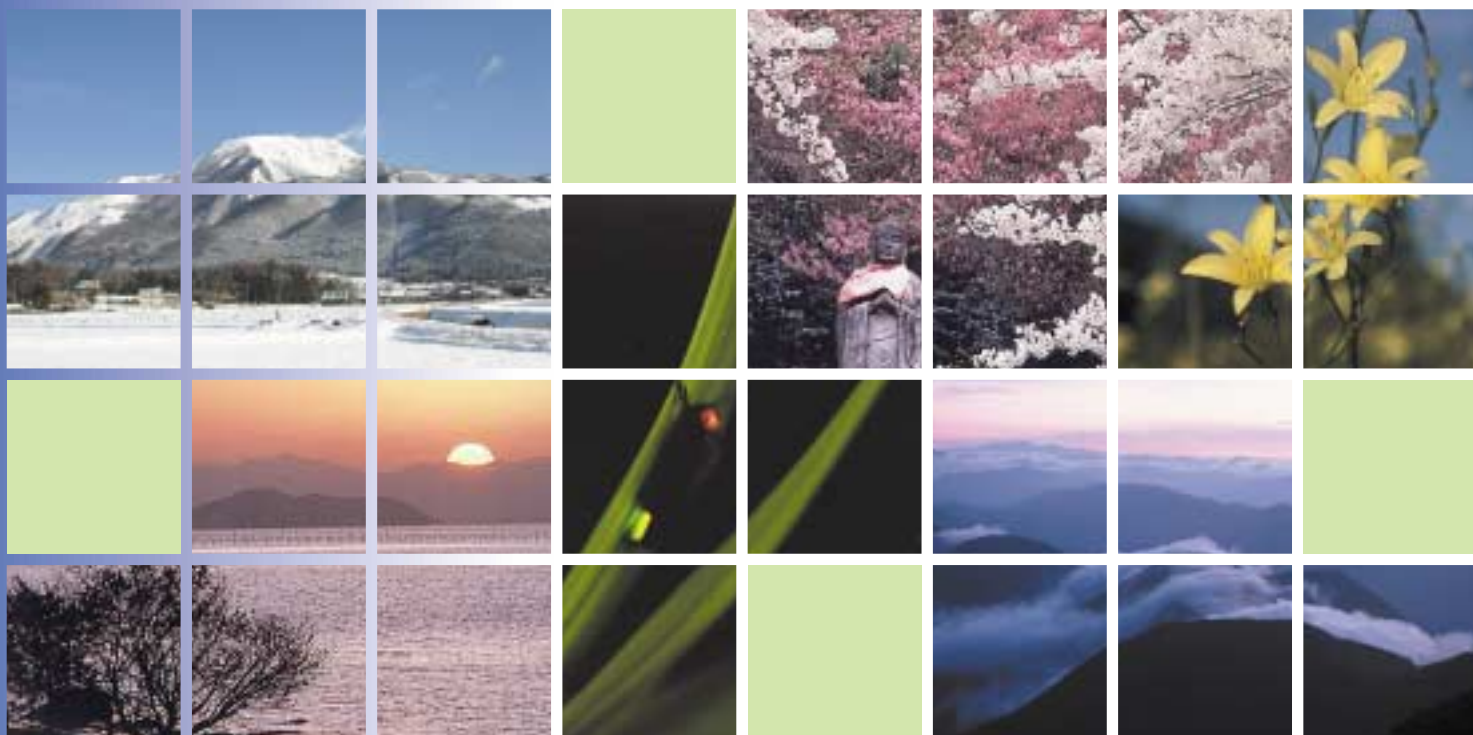


まいばら

ひとまちをつなぐ情報誌

特集 共に築く米原市のまちづくり
一人ひとりが主人公



創刊号

Public Information
Maibara

2005.3

vol.1

「あいち」

米原市長職務執行者

村西俊雄



米原市の誕生により、県下一の高さを誇る薬草の宝庫「伊吹山」から日本の広さを誇る母なるみずうみ「琵琶湖」までがひとつのまちでつながりました。

いま、今日に至るまでの合併協議に要した歳月を振り返りながら、この歳月が行政にとっても市民の皆さまにとっても、自らの地域の将来を考える大切な時間であったこと、そしてこれからの新しいまちづくりへのエネルギーを蓄える必要な期間であったことを実感し、この貴重な経験を今後の市政運営の糧として活かしていきたいと思っています。

分権社会が到来し、今世紀は地方の時代ともいわれていますが、今後は各自治体の自主性が尊重される方で、自己責任が追求され、自治体間でのサービスも競争の時代に突入します。誕生早々ではありますが、そのような厳しい状況下で急速に進む少子高齢化への対応や、行財政基盤の強化など本市も大きな課題に直面していることを認識しておかなければなりません。

この大きな課題を乗り越え、自然と都市機能が調和し、安心・安全でぬくもりのある“住んでよかったまち”、住みづけたいまち米原市“の輝かしい未来に向け、“まちづくりはひとづくり”をキーワードに市民の皆さまとの協働で新時代を築いてまいりたいと思います。

今後とも市民の皆さまのなお二層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しいまちづくりへの夢と感動を分かち合いたいと存じます。

平成17年2月14日

米原市誕生

Maibara City was born.

ここから始まる米原市の歴史...



山東 庁舎



▲山東庁舎での訓示



各庁舎では課名の
看板も取り替えられ、
心機一転新しい体制で
の業務がスタートしま
した。

村西市長職務執行者訓示
(伊吹庁舎)

AM
11:30~

村西市長職務執行者訓示
(山東庁舎)

AM
11:00~

村西市長職務執行者訓示
(米原庁舎)

AM
9:20~

部長・課長級の辞令交付式
(米原庁舎)

AM
9:00~



▲さっそく対応に追われる職員



▲伊吹庁舎での訓示

伊吹 庁舎



米原市誕生ルポ

米原市誕生の日

2005
2月14日

◀看板は”米原市”へと…



合併日を間近にひかえた2月の初め、各町では合併に向けた準備が着々と進められていました。看板も『米原市』と書き換えられました。

2月11日 いよいよ引越し作業が開始。各庁舎からは次々と荷物が運び出されました。

2月14日

米原市スタート!!

AM
8:15~

米原庁舎開庁式
村西市長職務執行者の式辞の後、来賓の方々の祝辞、銘板の除幕テープカットが行われました。

◀いくつものダンボール箱が運ばれる



▼銘板の除幕

▲テープカット



米原
庁舎

米原中学校生徒会 副会長

すみ だ ゆう き
角田 侑輝さん

の都市と姉妹都市提携をされているので、米原市でも積極的に行ってほしいです。2つ目は総合病院の建設など高齢化社会への対応です。そして3つ目は総合大学の設立でいろんな学習ができるようになることです。



僕の描く新しいまちの夢は3つです。1つは国際交流です。彦根市ではミシガン州

米原中学校生徒会 副会長

いけ だ まゆ さん
池田 まゆさん

私の描く新しいまちの夢は、木や花を植えてもつと緑を増やしたり、まちでゴミ拾いをしたり、ゴミ箱を設置してポイ捨てをなくしたりして環境に優しいまちにしていこうとです。そして

もつともつと住みやすい米原市にしていきたいです。

SIA(日本職業スキー連盟)
No.1デモンストレーター

まつ い ふみ とも
松居 文智さん

(上野)



私は旧伊吹町で37年間生活してきました。これから新しく米原市に生まれ変わる事になるわけですが、若い人達と共に仕事やレクレーションのできる活力のある市になっていけばいいと思います。特に3つのまちが一つになることで、西には東海道新幹線の米原駅や琵琶湖、北には日本百名山の伊吹山を有し、旧山東町の蜷など、観光のまちとしての素材にあふれるまちとなりました。この自然豊かな地域を観光のまちとして全国に発信していきたい、より多くの方々が訪れるまちになる事を願っています。

劇団カモンカンパニー 代表

なか むら かず み
中村 一海さん

(清滝)



美しいまち、豊かなまち、活きたまち。単に理想ではなく現実のものとする力、そこに住まう人々ひとりひとりが、このまちを愛する心にあると考えます。これまで、地域の人たちと、演劇を中心とした「表現すること」を試みてきました。米原市ではより多くの仲間との出逢いを期待しています。そして未来を担う子どもたちとともに、創造力豊かな米原市として、新しい芸術文化の発信をしていきたいと考えています。

特産品開発「バイカモグループ」代表

いそ たに えい こ
磯谷 英子さん

(磯)



商工会女性部の有志16人で結成した私たちバイカモグループは、地域に密着した活動を展開しよう、地域資源を活用し、特色ある特産品の開発を目指しています。市内醒井を流れる地蔵川には来訪者にも人気の梅花藻が自生しています。私たちはこの梅花藻に着目し、地域・産業・学校で連携し、滋賀県立大学との共同研究をおこないました。研究により、梅花藻には多くの栄養分があることがわかり、今後の商品開発にも力が入っているところです。米原市が誕生し、市の新たな特産品として、また地域活性化の起爆剤となるよう、より一層がんばっていききたいと思っています。

伊吹ホッケー
スポーツ少年団
女子チーム

6年 畑野ひかる・花房愛
堀江看奈・森佳奈枝
三家まこ・堀江未来



私たちは、大会でいい成績が残せるようにと、週3回ぐらい練習をしています。伊吹町から米原市に変わり、市になったら「ジムや「大きなプール」などスポーツがたくさんできるところ、「遊園地」や「映画館」など遊べるところ、買い物ができる大きなデパートとかがあつたらいいな」と思います。また、きれいな学校や大きなホールなどもできて、楽しく暮らせるまちになってほしいと思います。それと、3月の西日本大会では米原市のスポーツ少年団として優勝できるよう、一生懸命がんばりたいと思います。応援よろしくお願いします！

共に築く米原市のまちづくり

一人ひとりが主人公

米原市誕生にあたり、「米原市民として私はこんな市をつくっていきたい」、「わたしたちが描く新しいまちの夢」をテーマとして、市民のみなさんの声を聴いてみました。

指導農業士

堀江 澄子さん

(上野)



伊吹にある伝統野菜食品、林産物(シイタケなど山で採れるもの)、畜産物から特産品を作り販売できるまでにして、伊吹のよさを見直し楽しもうとする試みが始まって約10年。研究会の名称は変わりながらも、今では多くのグループ、個人が活発な活動を繰り広げるまでになりました。

米原市の誕生と共に、こうしたグループの交流が増えて新たな視野が広がり、とても楽しく発想が生まれるのではないかと期待しています。米原市のよさを生かした新たな特産品を伊吹から発信していくと思う、これからも活動を続けていきたいと思っています。

93歳の現役吟者

荒木弥次郎さん

(柏原)



豊かな大自然に恵まれた米原市、その原点はおいしい空気と水にある。北に伊吹山、南に霊仙、湧き出る冷泉、無尽蔵で広がる農地は近江米で有名なところ。山あり、河川あり、森あり、河川は改修して兩岸を産業道路とする。堤に桜並木を植えて春を楽しみ、清流にホタルを育む。林の中に働く場、教育施設を完備。一般社会教育や防災面でも然りである。東西南北通りぬけの、大型車の排ガスは民家を避けて専用バイパスをつくる。山陰の民家は陽の当たるところへ移る。静かで自然がいっぱい、人情豊かで健康で明るいまちを望みます。

〈仮称〉まいばら女性の会 会長

田中佐智代さん

(長岡)



昨今、私たちの回りではいろんな事件・災害が多発しています。そんな中、新しい市が誕生しましたが、大きくなった分、行政が少し遠くなった感がありますが、そう感じられないように何事にも取り組んでいきたいと思っています。

また、そんな時だからこそ、自分の地域は地域のみんなで手を取り合って守っていかなければと思います。特に地域女性のつながりは、女性の目線で行政を見つめていく点で大変重要なものであると思います。

上丹生木彫職人

井尻 一茂さん

(上丹生)



私は上丹生で彫刻をしています。上丹生は木彫の技と紋様を今に伝える木彫りの里として知られ、仏壇づくりに携わる職人がたくさん住んでいる集落です。ですが職人の数は年々減りつつあり、後継者育成が大きな課題となっています。

近年、木のぬくもりや手づくりのよさが見直されるようになり、木彫を体験したいと言われる来訪者も増えていきます。米原市となつて新しくなる部分にも大いに期待していますが、古くからこの地に受け継がれてきた伝統を大切にしたいまちづくりが展開できるよう、担い手のひとりとしてがんばっていききたいと思っています。

「米原市だがら」

めずすのは

こんなまちづくり

自然きらめき
ひと・まち ときめく
交流のまち

米原市はこんなまち

わたしたちのまち「米原市」は滋賀県東北部地域の中心に位置し、面積は205.06km²で、県土の5.1%を占めています。

■美しい自然と共に息づく地域

日本百名山のひとつである伊吹山とその南には霊仙山がそびえ、総面積のおよそ7割を占める森林にたくわえられた水が清流となって地域を流れ、母なる琵琶湖に注ぐという水と緑に包まれた自然豊かな地域です。良好な環境の指標として知られる多様な生き物たちの姿がみられ、暮らしにうるおいや恵みをもたらしています。

■人と人とのふれあいを大切にす地域

人を大切にしよう豊かな心やコミュニティを支える厚い人情が息づいている地域で、自らの地域課題を自ら解決していくエネルギーをもっています。

■自然や歴史を活かした

交流がさかんな地域

豊かな自然や歴史に惹かれて年間210万人の観光客が四季を通じて訪れる地域です。多彩なイベントや農業体験ツアーなど都市と農村の交流が繰り広げられています。

■歴史文化を

大切に共有してきた地域

ヤマトタケルの神話や歴代天皇の皇后を輩出した息長族の舞台となるなど、古くから歴史を共有してきた地域

です。

中世・近世の歴史の舞台にも度々登場し、平安時代の高僧・最澄や室町時代の大名・佐々木道誉（京極高氏）、戦国時代を代表する秀吉と三成などが活躍し、数多くの史跡を残しています。

■近畿・中部・北陸を結ぶ

出合いの地域

古くから中山道、北国街道、北国脇往還などで人やモノ、情報が活発に行き来した地域です。現在でも交通の要衝であり、高速道路や鉄道などの広域交通網が集中しています。多くの人が集まりやすく、将来の発展に向けて高い可能性をもった地域です。

地域の課題

住民アンケートの「米原市のまちづくりにおいて最も重要だと思う施策」についての集計結果を多い順に挙げると、

- ① 少ない経費で最大の効果をあげる行財政改革
- ② 医療体制と健康づくり支援の充実
- ③ 高齢者の福祉や介護の充実
- ④ 森林や河川など自然環境の保全
- ⑤ 都市計画の見直しと市街地整備
- ⑥ 防災や公害防止、交通事故防止などの安全対策の充実
- ⑦ 国道バイパスなど幹線道路や生活道路の整備

という結果が出ました。

このようなアンケート結果を踏まえた上で、さらに米原市のまちづくりの課題を8項目に分類すると……

- 交流中核都市としての確かな成長
 - すべての人に配慮した都市基盤の整備
 - 少子高齢社会への対応と医療・福祉体制の充実
 - 良好な自然環境と景観の保全・継承
 - 産業の活性化と交流型産業基盤の整備
 - 生涯学習と新世代を担う人材育成の推進
 - 住民と行政とのパートナーシップの確立
 - 行財政改革の推進
- に整理されました。

米原市の将来ビジョン

住民アンケートによる住民ニーズの把握をはじめ、統計調査結果などによる主要指標（今後の人口・世帯数推移や産業構造など）の見直し、関連計画や実施中の大規模プロジェクトの状況などを総合的に診断し、住民参加のもとで、米原市の将来ビジョンやまちづくりの基本理念が策定されました。

米原市がめざす将来像を実現するため、市民と行政とのパートナーシップのもとに掲げられた基本方針は次のとおりです。今後の市政ではこの方針に基づいた主要施策を推進していくこととなります。

3月6日（日）は、米原市長選挙

★市内の投票所は、下記のとおりです。投票にお出かけの際は、投票所をお間違えのないようにご注意ください。

投票区	投票所名	投票区内自治会
第1	甲津原交流センター	甲津原
第2	曲谷集会所	曲谷
第3	甲賀集会所	甲賀
第4	吉槻生活改善センター	吉槻
※第5	上板並集会所	上板並、下板並
第6	大久保老人憩の家	大久保、小泉
第7	伊吹生活改善センター	伊吹
第8	上野会館	上野
第9	弥高集会所	弥高
第10	米原市役所伊吹庁舎別館	春照
第11	高番集会所	高番
第12	杉澤集会所	杉澤、伊吹ヶ丘
第13	村木老人憩の家	村木
第14	大清水会館	大清水
第15	上平寺集会所	寺林、上平寺
第16	藤川集会所	藤川
第17	柏原生涯学習センター	柏原（西）、清滝
第18	はびろ会館	長久寺、柏原（東）
第19	大野木公民館	須川、大野木
第20	河内会館	梓、河内
第21	大原小学校体育館	市場、夫馬、朝日
第22	龍が鼻会館	烏脇、坂口、村居田、桜ヶ丘、平和台、グリーンタウン坂口
第23	野一色会館	井之口、野一色、小田、間田、坂田青成苑、すみれヶ丘
第24	山東幼稚園	天満、本市場、池下
第25	勤労青少年ホーム	志賀谷、北方、菅江、加勢野
第26	山東西小学校	山室、大鹿
第27	本郷公民館	堂谷、本郷
第28	米原市役所山東庁舎玄関ホール	長岡、万願寺、西山
第29	米原区公民館	米原
第30	梅ヶ原公民館	梅ヶ原、入江
第31	米原中保育園遊戯室	下多良、中多良、上多良、多良、賀目山、米原西
第32	筑摩蓮沼会館	朝妻、筑摩
第33	磯公民館	磯
第34	樋口公民館	河南、樋口
第35	息郷老人憩の家	北三吉、南三吉、西坂
第36	東番場会館	東番場、西番場
第37	醒井公民館	一色、醒井
第38	醒井幼稚園遊戯室	枝折
第39	下松尾公会堂	下丹生、上丹生

※ 今回の米原市長選挙の第5投票所は、『上板並集会所』となります。

の投票日です。

投票時間は午前7時から午後8時までです。
(※第1～第4投票所は午後7時まで)

貴重な一票を無駄にすることなく、投票に出かけましょう。

投票できる人 次の要件に該当し、選挙人名簿に登録されている人

◆住所要件◆

平成16年11月26日以前に転入届がなされ、引き続き3か月以上米原市に住んでいる人。

◆年齢要件◆

昭和60年3月7日以前に生まれた人

期日前投票

投票日に仕事や旅行、冠婚葬祭など何らかの用務で投票所へ行けない人は、期日前投票をしましょう。

従来の不在者投票のように投票用紙を内封筒・外封筒に入れて署名することなく、投票日当日の投票所と同じように投票することができます。

◆期 間◆ 2月28日(月)から3月5日(土)まで

◆投票時間◆ 午前8時30分から午後8時まで

◆場 所◆ 米原市役所

山東庁舎・伊吹庁舎・米原庁舎

※お越しの際は、入場券をお持ちください。

※平成17年3月6日までに20歳の誕生日を迎える人で、誕生日までに投票される人は、従来の不在者投票となります。

郵便等による不在者投票

身体障害者手帳(または戦傷病者手帳)の交付を受けている人で、法に定められた障害の程度により、自宅において郵便等による不在者投票ができる制度があります。

また、法改正により、介護保険法上の要介護者で要介護状態区分が要介護5の人、免疫機能障害1級から3級の人が、郵便による不在者投票ができるようになりました。

郵便等による不在者投票ができる人のうち、自ら投票の記載をすることができないと定められた人は、あらかじめ市選挙管理委員会に届け出た者(選挙権を有する者)に投票に関する記載をさせることができるようになりました。

障害の区分	障害の種類	障害等の程度
身体障害者手帳	上肢または視覚	1級
戦傷病者手帳	上肢または視覚	特別項症から第2項症

あらかじめ市選挙管理委員会から「郵便投票証明書」の交付を受ける必要がありますので、手続きはお早めをお願いします。詳しくは選挙管理委員会までお問い合わせください。

病院等における不在者投票

都道府県の選挙管理委員会が指定した病院や老人ホーム等に入院・入所されている人は、当施設長が不在者投票管理者となり、当施設で不在者投票ができる制度があります。当制度に該当する人で、本人の意思により不在者投票を希望される人は、施設の職員にお申し出ください。

入場券を忘れたら...

投票所受付で申し出てください。選挙人名簿で登録されている方は投票することができます。もし、お手元に入場券が届いていない場合は、選挙管理委員会までお問い合わせください。

問

選挙管理委員会事務局 ☎52-1552

*Walking here and there
in the city.*



鎌 刃城跡国史跡答申を記念して 講演会が開催されました

〈1月23日〉

昨年11月19日付けで文化審議会より米原市番場にある“鎌刃城跡”^{かまは}を国史跡に指定するよう答申がありました。その答申を記念して、米原町中央公民館で大阪大学名誉教授の村田修三氏をはじめとする4人の専門家を講師に迎え、『鎌刃城が語る戦国の城〜今、明らかにされる戦国城郭の実像〜』と題した講演会が開催されました。

地域住民のむらおこしをきっかけに発掘調査がはじまってからおよそ12年、日本城郭史を塗り替えるほどの発見にまでつながった鎌刃城の城郭構造の実態にせまるこの講演会には歴史ファンなど500人もの参加があり、会場は満席となりました。

伊 吹冬の陣 — 雪合戦奥伊吹バトル&かまくら祭2005 —

〈1月29・30日〉

今年も多数の応募から選ばれた県内外のジュニア・一般の54チームが熱い戦いを繰り広げました。この雪合戦では、シェルターを上手く利用し、雪玉に当たらないように相手チームのフラッグを狙います。最終的には、相手フラッグを奪うか、コート内に相手チームより多くプレーヤーが残っていた方の勝ちとなります。

1日目のジュニアの部では、監督の指示の下、子どもたちがそれぞれの作戦を練り、見事地元伊吹野球少年団Aが優勝しました。そして、翌2日目は一般の部。ジュニアとは違い、作戦ごとにサインを作ったり、投げられる雪球もかなりのスピードでした。一般の部で優勝を飾ったのは、やはりこちらも地元チーム伊吹ソフトOBでした。また、1日目の夜に行われた交流レセプションでは、特設ステージでの勝居炎陣太鼓の力強い演奏の他、地元甲津原・行徳寺「仏花クラブ」のメンバー手作りの竹の灯り約700個や雪だるまによるライトアップが会場を盛り上げました。

8年前、奥伊吹の豊富な雪で町おこしをと始まったこのイベントは地元の方々や多くのボランティアスタッフの力と支えにより、今や全国各地から多くの出場者が集る冬の一大イベントになりました。伊吹町としては最後の大会となりましたが、今後も冬のニュースポーツとして、この大会が続けられることを期待します。



木 の香りが漂う エコロジカルな学校 — 大原小学校 校舎が完成!! —

〈1月30日〉

長年の懸案であった大原小学校の校舎改築工事が完了し、竣工式が行われました。この大原小学校の改築工事は、平成15年7月に着工、およそ1年8ヶ月にわたる工事を経て完成したもので、『環境を考えた学校、人にやさしい学校、地域の風がいきかう学校』をコンセプトに、地域産の木材を内装に使用したほか、雨水を再利用したトイレの洗浄や風力・太陽光を利用した発電設備などの工夫が施されています。

総事業費は11億9793万円で、このうち国からおよそ3億8000万円の補助を受けました。



米原散歩道～♪

山東町・伊吹町・米原町 閉町記念式典

それぞれの歴史を胸に、新しい市へのプロローグ



明日への飛躍 山東町旗降納される

〈1月29日〉

1月29日、長岡のルッチプラザで山東町の閉町記念式典が行われました。町や町議会など関係者ら約300人が出席し、49年の歴史に幕を降ろす「山東町」に別れを惜しみ、新市への希望を託しました。式典では、三山元暎町長が「山東町は全国に誇る美しいまちづくりを進めてきた。ふるさとの明日への新たな始まりを誓いましょう」とあいさつ。式典後の第2部では、「新たな市民の自立とまちづくり参画フォーラム」が開催され、白鷗大学教授の福岡正行さんによる講演とパネルディスカッションが行われました。

思い出の伊吹町

〈1月22日〉

昭和31年9月1日、坂田郡春照村と伊吹村、そして東浅井郡東草野村が合併して、伊吹町の前身である「伊吹村」が誕生しました。その後、昭和46年には「伊吹町」として町制を施行し、伊吹は半世紀にわたり歩み続けてきました。

町民をはじめ、町内外の関係者など約300名が出席した式典で、多賀策え町長は、「今日はふるさと伊吹のフィナーレではありません。新たな未来へ飛翔するプロローグです。ふるさと伊吹は、輝かしい未来に向かって今日、只今から飛躍への新たな胎動をはじめます。」と式辞を述べました。そして、黒田義祥助役による「町政のあゆみ」の報告や、町の発展に尽力された方への感謝状の贈呈が行われ、特別表彰として昨年アテネオリンピックに出場した宮崎奈美さん、木村千恵さんにも表彰状が贈られました。

また、これまでの町の出来事を振り返る記念ビデオ『Memorial of 伊吹』が上映されると、出席者らは慣れ親しんだ「わが町」との別れを惜しみながら、新市でのさらなる発展を胸に誓いました。

最後は、伊吹山中学校の生徒が町旗を降納し、多賀町長に手渡されると、会場からは盛大な拍手が送られ、伊吹町閉町式典が閉じられました。



ありがとう米原町

〈2月10日〉

昭和31年9月1日に町制をスタートした米原町は、「米原市」の誕生とともに、その48年の歴史に幕を閉じました。

2月10日、町職員や関係者などが米原町中央公民館につどい、米原町の閉町に思いを馳せました。式典では、村西俊雄町長から住民のみなさんへの特大サイズの感謝状が贈られ、住民を代表して区長会長の八田能雄さん(米原)が感謝状を受け取られました。米原町のあゆみがスライド上映されたあと、長年、慣れ親しんだ町旗の降納などがおこなわれました。

また、米原町最後の日となった2月13日には、まいはらまちづくり振興協会「まいはらアミティ」主催の「さよなら米原町花火大会」が行われ、冬の花火をながめながら多くの人が米原町の思い出を語り合いました。



米原市行政放送『新・伊吹山テレビ』スタート!

まちの情報施策

■最終目標年を迎えた e-Japan

2001年、国が『e-Japan戦略／2005年に世界最先端のIT国家となる』を決定。『IT基本法』のもとに、その後3年半にわたる様々な取り組みが展開され、いよいよ今年、戦略目標の最終年を迎えました。

このe-Japan戦略では、第一目標として情報基盤の整備に力が入られ、高速インターネット環境の整備など、日本中に高い情報通信能力をもつ回線を張り巡らせる計画が推進されました。

また、2003年7月には、第一目標であった高速通信環境などIT社会を支える基礎的な部分の整備が進んだことを背景に、この情報基盤の利活用に重点をおいた新計画『e-Japan II』を策定。その目標として国民生活に身近で重要な7分野(医療、食、生活、中小企業金融、知、就労・労働、行政サービス)について先導的にITを利活用する計画が立てられ、今日まで各種の整備が推進されてきました。

■課題となった都市と地方の情報通信整備格差

こうして、国を挙げてIT国家戦略が進められる一方、地理的条件や人口密度のちがいなどで都市と地方の情報通信環境整備に格差が発生。この状況を解消するために旧山東町と旧伊吹町の地域では、国の緊急支援と民間事業者への働きかけによって光ファイバーケーブル等を用いたケーブルテレビ回線を整備(約98%の世帯が加入)。また、2004年1月からケーブルテレビによる行政放送を開始し、子どもからお年寄りまで、だれもが簡単に情報を得ることができるテレビを通して、地域に密着した話題や各種情報の提供を行ってきました。

■『新・伊吹山テレビ』スタート!!

そして2月14日、米原市誕生にあわせて、『米原市行政放送局 新・伊吹山テレビ』として放送をスタートしました。これに伴い、二つの放送エリアを統合。さらには2011年7月で終了する地上波アナログ放送への対応も考え、今後、旧米原町の地域にも回線の整備を進め、放送エリアを大きく拡げる予定です。

また、この番組づくりには、市民リポーターの皆さんにも参加いただき、米原市を舞台にした、地域に密着したまちの情報をお伝えしていきます。取材へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

☆なお、『伊吹山テレビ』の番組は米原庁舎でご覧いただけるほか、ビデオライブラリーにて貸し出しを行っておりますのでご利用ください。



ケーブルテレビに関するお問合せは…
米原市政策推進部情報政策課
☎52-6627

このように、長浜は古くから鉄道の町として栄えてきましたが、明治から現在までの鉄道の歩みを紹介するのが「長浜鉄道スクエア」です。

ここには、資料館として一般公開している鉄道記念物「旧長浜駅舎」、北陸線電化までの歴史と文化を紹介する「長浜鉄道文化館」、日本で初めて実用化された交流電気機関車ED70とSLのD51を展示する「北陸線電化記念館」の3つの施設があり、鉄道の魅力を満喫いただけます。

明治の文明開化を偲ぶふりかたとして、鉄道ファンをはじめぜひお立ち寄りください。

平成18年秋の開業に向け建設工事が進む長浜駅舎の南側には、鉄道に関する情報を発信する観光スポット「長浜鉄道スクエア」があります。

明治15年に、日本で3番目の官営鉄道として敷設された長浜―敦賀間の駅として、また日本初の鉄道連絡船で天津を結ぶ水陸の要衝として建てられた旧長浜駅舎は、国内で現存する最古の駅です。

長浜鉄道スクエア

鉄道の町だった明治時代を偲ぶ



長浜市



▲日本で唯一現存するED70形交流電気機関車とSLのD51

- 長浜鉄道スクエア
- 【開館時間】午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
 - 【休館日】年末年始
(12月29日・1月3日)
 - 【入場料】大人300円
小中学生100円
 - 《長浜鉄道スクエア特別展》
「駅弁の名脇役：懐かしの汽車土瓶展」
【期 間】3月13日(日)まで
※汽車土瓶：明治時代、駅弁と一緒にお茶は陶磁器の土瓶で売られていました。今ではすっかり見なくなりましたが、汽車土瓶を傍らに乗り向かいの慶雲館で「長浜盆梅展」も開催中(3月13日まで)
 - 【お問い合わせ】
市観光振興課(☎65-6521)
長浜鉄道スクエア(☎63-4091)
※長らくご愛読いただきました「こほくとくまれ」は今回で最終回となります。

近江町との合併に向けて①

米原市・近江町合併協議会が設置されました

～近江町との合併協議 これまでとこれから～

去る2月21日に米原市と近江町それぞれの議会において、「米原市・近江町合併協議会」の設置が議決されました。今後、合併協議が終了すると、米原市長と近江町長が合併協定調印を行い、両市町議会において合併関連議案の議決を経て3月末までに県知事への申請が行われる予定です。米原市が誕生した新たなまちづくりがスタートしたところですが、10月1日の近江町との合併に向けて協議が大詰めを迎えています。

これまでの経過

米原市と近江町との合併協議は、旧山東町・旧伊吹町・旧米原町と近江町の4町が任意協議会を設置し、昨年10月から計6回の議論が行われました。昨年12月24日に開催された第4回協議会では、それまで継続となっていた合併方式について、法制度上は「編入」となりますが、それぞれの歴史・文化・

伝統やまちづくりの歩みを尊重しつつ、地域の一体的な発展と住民福祉の向上のため、対等協議による新たなまちづくりを行うことが確認されました。

また、1月13日の第5回協議会における新市の議会議員の定数をめぐる議論では、定数24人という4町議会からの申し入れに対し、合併が行財政の効率化を目的としていることから、議会が率先して定数削減を進めるべきとの意見が住民代表委員からあり、定数は24人とし、2回目以降の選挙における定数は合併後削減の方向で検討することとなりました。

限られた期間の中、また3町による米原市の発足準備が並行して進む中、坂田郡が一つのまちになるという目標に向けた真剣な議論が交わされ、6回の協議会で、新市まちづくり計画も含めた協定54項目すべての確認を終了しました。

2月14日の米原市誕生により、米原市・近江町合併協議会が設置され、今後は、任意協議会に替わりこの法定協議会において合併協議が進められます。

合併協定の主な確認内容

▼合併の方式

米原市（山東町・伊吹町・米原町）と近江町は互いにそれぞれの歴史・文化・伝統やまちづくりの歩みを尊重しつつ、将来における地域の一体的な発展と住民福祉の向上のため、対等協議による新たなまちづくりをします。

法制度上の合併方式は、近江町を廃し、その区域を米原市に編入する編入合併とします。

▼合併の期日

平成17年（2005年）10月1日とします。

▼新市の名称

新市の名称は、米原（まいばら）市とします。

▼新市事務所の位置

地方自治法第4条第1項の規定に基づき条例で定める新市の事務所の位置は、米原市役所米原庁舎所在地（米原市下多良三丁目3番地）とし、本庁機能を分担する庁舎として、山東庁舎、伊吹庁舎、米原庁舎とともに、現近江町役場を近江庁舎として利用します。

▼議会議員の定数

新市の議会議員定数は、24人とし、2回目以降の選挙における定数は合併後削減の方向で検討します。

これからの予定

米原市と近江町との合併協議は、現行の合併特例法による特例措置の適用を受けられるよう進めています。このため今後、法定合併協議会において任意協議会の協議内容を確認後、米原市長と近江町長が合併協定書の調印を行い、各市町議会において合併関連議案の議決を経て3月末までに知事への合併申請を行うこととなります。その後、県議会の議決、知事の合併の決定および総務大臣の告示を経て、10月1日には近江町を加えた新しい米原市がスタートします。

3月中旬 合併協定書調印
3月下旬 各市町議会にて合併議案議決
3月下旬 知事に合併の申請
7月中旬 県議会が合併議案議決
知事が合併の決定
8月中旬 総務大臣が合併の告示
10月1日 新市の誕生

問い合わせ

総合政策課

☎ 52・6626

E-mail: seisaku@city.maibara.shiga.jp

URL: http://www.city.maibara.shiga.jp

米原市・近江町合併協議会事務局

☎ 52・8828

Fax 52・6011

E-mail: mo-gappei@dream.ocn.ne.jp

URL: http://www.mo-gappei.org

くらし全般

“ 市民自治センター ”ってどんなところ？

市民自治センターは、各旧町の役場、山東庁舎・伊吹庁舎・米原庁舎にそれぞれおかれています。自治センターでは、住民の方が今までどおりのサービスを居住地の近くで受けられるように次のような業務を行っています。なお、居住地に関わらず、いずれの自治センターでも同じサービスが受けられます。

業 務 内 容			
市民自治センター	自治振興課	行政相談・人権相談・消費者相談等の各種相談受付、防災無線に関すること、消防・防災、地域要望や自治会との連絡調整等の地域振興に関すること、ゴミ袋の販売など	
	市民窓口課	届出・税金 年金等	税務証明等の交付、固定資産についての証明・閲覧、納税相談、戸籍の届け、住民基本台帳等の届出および申請書の受付、戸籍の謄本・抄本・住民票の写し等の作成・交付、印鑑登録・証明、埋火葬許可・こもれび苑の使用受付、住民基本台帳・土地家屋台帳・公図の閲覧、使用料、手数料等の公金収納など
		健康・福祉	老人医療・福祉医療についての資格証の交付と申請受付・相談、介護保険資格者証の交付、障害者福祉の給付についての受付・証明の交付、国民健康保険被保険者証の作成・交付、妊婦届の受付・母子健康手帳の交付、国民年金被保険者資格の取得・喪失、身体障害者手帳・療育手帳等の申請受付、児童手当・児童扶養手当の申請受付・現況届の受付、保育園の入退園の受付など
		教 育	幼稚園の入退園、児童生徒の就学・転入学の受付など

＊詳しくは、暮らしのガイドブックをご覧ください。

暮らしのガイドブックができました！

市役所の業務案内、手続き・税金・福祉・医療に関することなど、私たちの日常生活に関わる事柄がこの1冊にまとめられています。既に自治会を通じてお手元に配布させていただいておりますが、もしお手元に届いていない方がおられましたら、市役所各庁舎または行政サービスセンターまでご連絡ください。

お詫びと訂正 ～E-mailアドレスの訂正について～

1月下旬から2月上旬にかけて市内の全世帯に配布しました「米原市暮らしのガイドブック」の19ページ中、E-mailアドレスに一部誤りがありました。お詫びして訂正します。

市民自治センター自治振興課
 (誤) 米原 E-mail: maihara-shinkou@city.maibara.shiga.jp
 (正) 米原 E-mail: maibara-shinkou@city.maibara.shiga.jp

市民自治センター市民窓口課
 (誤) 米原 E-mail: maihara-madoguchi@city.maibara.shiga.jp
 (正) 米原 E-mail: maibara-madoguchi@city.maibara.shiga.jp



環境保全

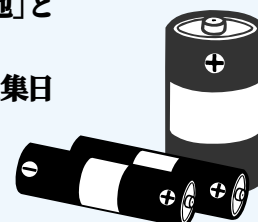
ボタン電池類の分別収集について

平成17年4月から、ボタン電池・小型充電式電池も資源ごみの「使用済み乾電池」として、集積所に出していただくことができます。

資源の有効利用を目的としますので、『燃えないごみ』に出さずに、資源ごみ収集日に出していただきますようお願いします。

リサイクル推進にご協力を！

☎ 経済環境部環境保全課 ☎ 58-2230



人 口	32,140人 (+70)	65歳以上の人口	7,653人
男	15,703人 (+29)	高齢化率	23.81%
女	16,437人 (+41)		
世帯数	9,874戸 (+50)	(平成17年1月31日現在)	

()内は前月との比較 ※市の人口は外国人登録人数を含めて公表しています。

税金・使用料など 3月の税等料金についてのお知らせ

— 納税は便利な口座振替で —
3月は次の税等料金が引き落としになります。

- 国民健康保険税 第10期
- 保育所保育料 3月分
- 介護保険料 第10期
- 水道料金
〈旧米原町地域3月分〉12月—1月使用量を1/2した分
〈旧山東町大原・西学区地域3月分〉1月使用分
- 下水道使用料
〈旧米原町地域3月分〉12月—1月使用量を1/2した分
〈旧山東町大原・西学区地域3月分〉1月使用分
〈旧山東町柏原・東学区地域3月分〉12月—1月使用分
- 下水道事業受益者負担金
平成14年度以降に対象となった方で分割納付を選択されている方

※ 口座振替の“お知らせハガキ”と“納付書”の発送日は3月16日(水)です。

※ 口座振替日および納期限は3月31日(木)です。

☎ 市民・税務課 ☎ 52-1556

情報 アクセスしてみよう!

— 米原市公式WEBサイト(ホームページ)開設 —

2月14日午前9時、米原市としての新しいホームページが開設されました。今回、米原市が有する豊かな自然をテーマに旧3町のインパクトのある写真を使用したほか、ホームページを訪れた方が自分の知りたい情報をいち早く入手できるよう、分野ごとにわかりやすくページを構成し、ページ間の移動もしやすくなっています。また、メールでの問い合わせ機能も充実し、市政に対するご意見等も簡単に送れるようになっています。

まだまだ、十分なものとは言えませんが、今後みなさんからのご要望もお聞きし、更に内容を充実させて、新鮮な情報をお届けできるようにしていきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

米原市公式WEBサイト
<http://www.city.maibara.shiga.jp/>

☎ 政策推進部情報政策課
☎ 52-6627



まちの情 報 館

教育 小・中学生の保護者のみなさんへ

平成17年度 児童・生徒の 就学援助費制度について

この制度は、経済的理由により就学困難な小・中学校児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な学用品費、給食費などの一部を援助し、安心して就学していただくとするものです。

【対象者】

- ①要保護者 生活保護法に基づく要保護者
- ②準要保護者 要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる方

【申請手続き】

準要保護者のみ申請が必要です。所定の申請書に必要事項を記入の上、3月末日までに地元民生児童委員さんまで提出してください。申請用紙は、教育委員会学校教育課(米原市役所山東庁舎内)、各市民自治センター、各小中学校、地元民生児童委員さん宅においてあります。

高校生・大学生のみなさんへ

米原市奨学資金貸与奨学生募集

【貸与の資格】

以下の条件を満たしている人

- ・市内に居住する人、または居住する人の子
- ・高等学校、高等専門学校、短期大学、大学に修学している人、または修学が確実であるが、経済的理由により修学が困難である人
- ・他から奨学資金の貸与、給付を受けていない人
- ・資金貸与希望者本人の属している世帯の年間収入が、独立行政法人日本学生支援機構の定める収入基準額の1.1倍以下であること

【貸与の額】

- ・高等学校及び高等専門学校 月額 1万円以内
- ・大学及び短期大学 月額 3万円以内

【貸与の人員】米原市全域で年間合計 8人

【申請方法】

所定の申請用紙に必要事項を記入し、市教育委員会学校教育課まで提出してください。(用紙は、市教育委員会、各中学校にあります。)

【募集期間】3月1日(火)～3月18日(金)

☎ 教育委員会学校教育課
☎ 55-8109



イベント情報

市内の施設情報

日時	催し名	会場	詳細
3月2日(水)～ 3月21日(月) 10:00～17:00	和紙ちぎり絵展 －桐山はす江“ちぎり絵の世界”－ 特注染めの越前和紙をつかった桐山さんの繊 細でいて力強いちぎり絵による風景・草花など の作品展	醒井水の宿駅 湧水ギャラリー	火曜日休館 ¥ 無料 問 ☎54－5353
3月10(木)まで 9:00～17:00	鴨の里盆梅展・蘭展 湖北に早春の訪れを告げる 風物詩「鴨の里盆梅展・蘭展」	グリーンパーク山東	¥ 大人400円・中高生200円・ 小学生以下無料 問 ☎55－3751
3月10(木)まで 9:00～17:00	第4回伊吹を描く絵画展	グリーンパーク山東内 伊吹の見える美術館	¥ 大人300円・中高生150円・ 小学生以下無料 問 ☎55－3751
3月13日(日) 14:00～	ルッチ・ロビーコンサート 『ひこね第九オーケストラ管楽 アンサンブル』	米原市民交流プラザ ルッチプラザ	¥ 無料 問 ☎55－4550
3月27日(日) 15:30～	おもしろ演劇ワークショップ& 成果発表公演with カモンカンパニー 『2005カモカン版“こさじま”』	伊吹薬草の里文化センター内 ジョイホール	入場無料 ※ チケット持参の方優先 問 ☎090－3849－5078 (カモンカンパニー中村)
3月23日(水)～ 4月17日(日) 10:00～17:00	ビッグバード作品展 －川崎浩・志津野愛二人展－ 川崎さん(米原市在住)と志津野さん(米原市 在勤)のお二人による絵画展です。油彩画・水 彩画・絵本原画など約30点の作品に出会えます。	醒井水の宿駅 湧水ギャラリー	火曜日休館 ¥ 無料 問 ☎54－5353
3月26日(土)まで	地元カメラマン3人による 『伊吹山と新幹線写真展』	醒井コミュニティ センター	¥ 無料 問 ☎54－5353
3月27日(日) 14:00～	第9回りれーピアノ発表会 ベルホール310のステージで憧れのピアノ・スタ インウェイを弾き、思い出の曲などを演奏いた だけます。	米原市民交流プラザ ルッチプラザ	問 ☎55－4550
4月16日(土) 17:00～	真依子ライブ・湖都ーコトノウター 米原市在住の真依子さんによる伝統的な箏曲 にとらわれないポップス調のオリジナル曲のほか、 「りんご追分」「里の秋」などをギター、ウッドベ ースとともに演奏の予定	米原市民交流プラザ ルッチプラザ	全席自由 1000円 問 ☎55－4550



おすすめの図書

『NHK大河ドラマ「義経」』

角川インタラクティブ・メディア

今年の大河ドラマはご存知悲劇のヒーロー源義経。そんなドラマの裏側や名場面フォト集、登場人物の相関図など、内容盛りだくさん。大河ドラマ「義経」をより深く知ることのできる一冊です。



問 ルッチプラザ内米原市立山東図書館 ☎55－4554

10:00～22:00(冬季は21:00)まで開館しています。
休館日は月・祝日の翌日・第4木曜日です。

『こんにちは おにさん』

内田麟太郎／作・広野多珂子／絵 教育画劇

誰かがいると威張るけど、誰もいないとタヌキとイタチを肩車してくれるやさしいおにさん。でも、ある日、恥ずかしいところを見られて、家に閉じこもってしまいました。やさしい気持ちになる絵本です。



米原市地域子育て支援センターだより

米原市内未就園児家庭を対象に支援センター活動を行っています。
みなさん、遊びに来てください。

子育て支援センター寺子屋

◇園開放:楽しい行事にいっしょに参加してね。

実施日	活動内容	時 間
3月 5日(土)	やりたい事、話したい事… ワイワイガヤガヤ みんなで遊ぼう!	午前10:00 ~11:30
3月12日(土)		
3月15日(火)	人形劇がやってくる。 人形劇団とんと 演目:ともだちもり ・ もりまつり	

※4月は、9日(土)から始めます。

◇園庭開放:毎週火・木曜日 午前10:00~11:30

○遊具がたくさんあります。おうちの人と遊びに来てね。

◇育児電話相談:月曜日~金曜日 午前10:00~午後5:00

○ひとりで悩まないで! 保育士が相談に応じます。

開設場所 長岡保育園内 子育て支援センター寺子屋 ☎55-0061
〒521-0242 米原市長岡1167-4 <http://www.ex.biwa.ne.jp/~n-hoiku>



子育て支援センターあゆっこ

◇3月のめばえ活動:おもちゃで遊ぼう!

学区	実施日	会 場	時 間	備 考
醒井学区	3月 4日(金)	上丹生公民館	午前10:00 (受付9:50) ~11:30	天候の都合で、散歩の 予定もしています。 春探ししませんか?
	3月15日(火)	醒井公民館		
息郷学区	3月22日(火)	西番場公民館		
米原学区	3月 1日(火)	梅ヶ原公民館		
	3月18日(金)	米原西公民館		
入江学区	3月 8日(火)	磯公民館		

※4月から幼稚園、保育園に入園される方で、めばえの名札・ケースをお持ちの方は
3月中に返却を支援センターあゆっこまでお願いします。

◇あゆっこ開放:毎週月・水・木曜日 午前10:00~11:30

○気楽に遊びに来られるお部屋です。遊具や絵本があります。

◇園庭開放:月曜日~土曜日 午前10:00~11:30

○遊具や砂場で遊びませんか?

◇育児電話相談:毎週月曜日 午後1:00~4:30 ☎52-1114

○相談員が応じます。一人で悩まず、まず、誰かに話してみても…。

開設場所 米原市立米原中保育園内 子育て支援センターあゆっこ
〒521-0016 米原市下多良146-1 ☎52-1114



自衛隊各業種募集のお知らせ

問 自衛隊彦根募集事務所
☎ 0749-26-0587

業 種	対 象	受付期間	1 次試験
予備自衛官補 (一般)	日本国籍を有する、18歳以上 34歳未満の人	1月11日(火) ～4月8日(金)	4月16日(土) ～4月18日(月) の間の指定の日
予備自衛官補 (技能)	日本国籍を有する、18歳以上 55歳未満の人 (保有資格により年齢が異なります)		
幹部候補生	20歳以上26歳未満の人 ※22歳未満は大卒者(見込み含む)	4月上旬～5月上旬	5月中旬

募
集

自分の生き方、みつめてみよう 生き方探し(大地と生きる)講座

日 時	講座内容
3月2日(水)	ハーブに込めた 健康と幸せへの願い ローズマリー農園 岸本美幸さん
3月6日(日)	農村を心安らぐ場所にしたい 農事組合法人「大戸洞舎」 松本茂夫さん
3月16日(水)	信楽自然釉の成功、 そして骨髄バンクに力を尽くし 陶芸家 神山清子さん
3月20日(日)	脱サラ、 『健康・環境・安全』こだわり農業 ゆあさ農園 湯浅直樹さん

※要申込 ※時間はいずれも 13時30分～15時30分

場 県立長浜ドーム宿泊研修館

¥ 無料

申・問 県立長浜ドーム宿泊研修館

☎ 64-2880

「長浜ギター・マンドリン アンサンブル公演」

時 3月20日(日) 14時開演

場 県立文化産業交流会館 小劇場

出演者 長浜ギター・マンドリンアンサンブル

曲目 冬のソナタ・赤とんぼ・風の谷のナウシカ他

¥ 無料(要入場整理券)

整理券配布場所

県立文化産業交流会館・県立長浜文化芸術会館

問 県立文化産業交流会館

☎ 52-5111

催
し

一ふるさとの詩、心の風景— 宮谷孝子・布絵展

時 3月12日(土)～27日(日)
9時～17時

場 県立長浜文化芸術会館

¥ 無料

問 県立長浜文化芸術会館

☎ 63-7400



車を譲り受けたときは、 車検証の名義変更をお早めに

自動車税は毎年4月1日現在の所有者に課税されます。自動車を譲り受けたり、使わなくなったりしたときは、3月末までに必ず運輸支局で名義変更や廃車の登録手続きをしてください。なお、3月は登録や税の申告窓口が混雑しますので、早めに手続きを済ませてください。

問 自動車税事務所(税関係) ☎077-585-7288
近畿運輸局滋賀運輸支局(登録関係) ☎077-585-7251

パスポートセンター 米原出張所窓口からのお知らせ

3月22日(火)は、県立文化産業交流会館が休館日のため、窓口業務は休ませていただきます。なお、大津の窓口は、土日祝日を除き、通常どおり申請受付業務を行います。

問 滋賀県パスポートセンター

☎ 077-527-3323

FAX 077-527-3329

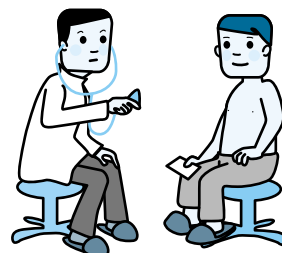
お
知
ら
せ

柏原診療所(医科)が廃止され、民間診療所としてスタート

地域医療の充実と民間活力の導入を目的に「米原市国民健康保険柏原診療所」は、3月末で廃止となります(診療所での診察は3月15日(火)まで)。

なお、4月初旬から民間診療所として診療が再開されます。

※柏原診療所2階の歯科診療所は、引き続き直営診療所として診療します。



仮称「まいばら女性の会」会員募集中 ～地域婦人会が「まいばら女性の会」となりました。～

活動内容

- 女性の交流と親睦を深める
- 地域の課題解決に向けた活動の展開
(子育て・環境問題・青少年育成・男女共同参画社会づくりなど)
- 新しいまちづくりに女性の視点で参画する

会員 米原市在住の成人女性(年齢不問)

会費 年会費 1,000円

〆 3月末日まで

申・問 伊吹町地域婦人会 山崎まさ子(☎58-1097)
山東町婦人連合会 田中佐智代(☎55-0022)

募集

時 日時・期間
¥ 料金・費用
〆 申込などの締切
問 問い合わせ先
FAX F A X 番号

場 場所
? 内容
申 申込先
☎ 電話番号
e Eメールアドレス

パソコン中級講習会受講生募集

時 3月15日(火)～18日(金) 9時～16時
場 (財)滋賀県婦人会館(近江八幡市鷹飼町105-2)
対象 45歳～59歳の求職活動中の人で
ワード・エクセルの基本操作ができる人
定員 15人(超過のときは抽選)
¥ 無料
? ワード・エクセル(中級)①業務に即した関数を用いた表計算とグラフ作成②就職対応講座 など
〆 3月10日(木)午後3時必着
申 ハローワークにて配布中の申込用紙に記入のうえ、下記まで。(電話やHPからも可能です)
問 (社)滋賀県雇用対策協会
〒525-0032 草津市大路1-1号エルティ932 3階
☎ 077-566-7420 FAX 077-566-7590
<http://www.shiga-koyou-kusatsu.jp>

ジュニアテニス教室受講生募集

時 3月5日(土)～ 毎週土曜日
13時～14時30分(小学2年生～6年生)
15時～16時30分(中学生)
場 近江母の郷ふれあいドーム他
講師 日本体育協会
公認テニス上級コーチ 湊 康一氏
対象 小学2年生～中学3年生
定員 40人(随時募集)
¥ 1ヵ月 4,000円(別途年間 3,000円)
申 はがきに①受講生氏名②保護者氏名③住所④
自宅電話番号⑤緊急連絡先⑥受講生生年月日(学
年)を記入のうえ下記まで
問 沢田友宏(事務局)
〒522-0053 彦根市大藪町225-51
☎ 0749-22-9512

季節の草花を描いてみませんか！

日ごろ、何気なく見過ごしている身近な草花を一日
講座で描いてみませんか？初心者も大歓迎です。

時 3月13日(日)13時～16時
場 滋賀県立長浜文化芸術会館
対象 小学生(保護者同伴)～一般
定員 30人(先着順)
¥ 1,000円 — (材料費別)
問 県立長浜文化芸術会館 ☎ 63-7400

ミシガン州立大学連合日本センター 英語講座受講生募集

日本にしながら海外留学！アメリカからの留学生
と一緒に、本格的な英語が学べます！

開講期間 4月13日(水)～7月5日(火)
? 英語集中コース…290,000円(月～金曜日・週20時間・入寮可)
モーニングコース…150,000円(月～金曜日・週10時間・入寮可)
スキルテーマ別コース(週1～2回・2～4時間)
夜間コース…71,300円(毎週月および木曜日・週3時間)
〆 3月23日(水)
問 ミシガン州立大学連合日本センター
☎ 0749-26-3400 <http://www.jcmu.net>

社会福祉法人米原市社会福祉協議会 高齢者生きがい講座の受講生募集

講座の種類

- | | |
|------------|---------|
| ①民謡・詩吟講座 | ②文芸講座 |
| ③古流講座(生け花) | ④大正琴講座 |
| ⑤園芸講座 | ⑥油絵講座 |
| ⑦環境と健康講座 | ⑧編み物講座 |
| ⑨男性料理講座 | ⑩手芸講座 |
| ⑪池坊講座(生け花) | ⑫カラオケ講座 |
| ⑬スポレク・健体講座 | |

開催回数 年間10回(月1回)※バス送迎あり
平成17年4月～平成18年1月

場 米原市社会福祉協議会山東支所(長岡3127)

対象 市内在住の65歳以上の人

¥ 1,500円/年

〆 3月15日(火)

申 米原市社会福祉協議会の各支所に設置の申込用
紙に必要事項を記入のうえ、受講料を添えて各
支所まで

問 米原市社会福祉協議会 山東支所

☎ 55-2365(担当:武村)

米原市の夢をのせて

自然豊かな3町が合併し、米原市が誕生しました。新市には、源流から琵琶湖まで多様な自然環境が広がります。源流部には、県内に7ペアしかいないイヌワシのうち、1ペアが生息しています。イヌワシは多様な生物が織りなす豊かな自然のシンボルです。

先人が残したこのすばらしい自然環境が、源流から琵琶湖へととうとうと流れる水のごとく、途切れることなく米原市へそして未来へと引き継がれることを期待します。



未来へ羽ばたく若ワシ (撮影: 須藤一成)

まい ばら	編集 米原市役所
	発行 政策推進部情報政策課
	〒521-8501 米原市下多良三丁目3番地 TEL 0749(52)6627 FAX 0749(52)5195 E-mail: jouhou@city.maibara.jp HP http://www.city.maibara.shiga.jp/
public information maibara	創刊号 2005.3